

観客と一体となって楽しむことの素晴らしさ。

考え、つながり、自由自在に——こんなライブ映画は見たことない!



“素晴らしい多幸感”

— ENTERTAINMENT WEEKLY

“正真正銘の傑作”

— ROLLING STONE

“人生賛歌”

— SLANT

“スリルと遊び心と魅惑にあふれる”

— VARIETY

映画の原案となったのは、2018年に発表されたアルバム「アメリカン・ユートピア」。この作品のワールドツアー後、2019年秋にスタートしたブロードウェイのショーが大評判となった。2020年世界的コロナ禍のため再演を熱望されながら幻となった伝説のショーはグレーの揃いのスーツに裸足、配線をなくし、自由自在にミュージシャンが動き回る、極限までシンプルでワイルドな舞台構成。マーチングバンド形式による圧倒的な演奏とダンス・パフォーマンス——元トーキング・ヘッズのフロントマン、デイヴィッド・バーンと11人の仲間たちが、驚きのチームワークで混迷と分断の時代に悩む現代人を“ユートピア”へと誘う。この喜びと幸福に満ちたステージを、『ブラック・クラウンズマン』でオスカーを受賞し、常に問題作を作り続ける鬼才・スパイク・リーが完全映画化。80年代の傑作『ストップ・メイキング・センス』から36年。アメリカ全土を巻き込んだ熱狂が今、日本に緊急上陸! かつて誰も見たことのない、全く新しいライブ映画が誕生した。これは、更なる進化を続けるデイヴィッド・バーンからの、迷える今を生きる私たちの意識を揺さぶる物語であり、熱烈な人生賛歌である。

トーキング・ヘッズ時代からの名曲づくし! デイヴィッド・バーンが歌って踊る
全21曲、ロックスペクタクルな107分!

• This Must Be The Place (Naïve Melody) • Everybody's Coming To My House • Once In A Lifetime
• Born Under Punches (The Heat Goes On) • Burning Down The House • Road To Nowhere and more!



監督:スパイク・リー 製作:デイヴィッド・バーン、スパイク・リー 出演ミュージシャン:デイヴィッド・バーン、ジャクリン・アセヴェド、グスタヴォ・ディ・ダルヴァ、ダニエル・フリードマン、クリス・ジャルモ、ティム・ケイパー、テンダイ・クンバ、カール・マンズフィールド、マウロ・レフォスコ、ステファン・サンフアン、アンジー・スワン、ボビー・ウーテン・3世 2020年/アメリカ/英語/カラー/ビスタ/5.1ch/107分/原題:DAVID BYRNE'S AMERICAN UTOPIA/字幕監修:ピーター・バラカン 公式サイト:americanutopia-jpn.com
ユニバーサル映画 配給:パルコ 宣伝:ミラクルヴォイス 本作は光に対して敏感なお客様にご覧になられた場合、光の点滅など、光感受性反応による諸症状を引き起こす可能性のあるシーンが含まれております。ご鑑賞いただく際には予めご注意ください。© 2020 PM AU FILM, LLC AND RIVER ROAD ENTERTAINMENT, LLC ALL RIGHTS RESERVED



5.7 FRI 全国ロードショー
ムビチケカード絶賛発売中! ¥1,500 (税込)